

# 教育カウンセラー沖縄

〒902-0061 沖縄県那覇市古島 1-14-6 教育福祉会館内 電話 098-884-2578 代表：神保しげみ

## 教育カウンセリング夏期講座

2014年度の夏期講座は7月29日から8月24日にかけて、16コマの講座が開催されました。受講者の総数は約255名でした。今年度は、案内文の遅れた昨年の反省のもとにこれからも、参加者のお声を参考に、よりニーズに即した講座を提供したいと思います。ご期待ください。講師の先生方、参加者の皆さん、ありがとうございました。

<学級や相談室で活用できる臨床美術体験> 仲本 イツ子・眞栄田 寿賀子（臨床美術士）

・オイルパステル画や紙の切りばりがこんなに楽しいとは…!! 集中した後スッキリしました。子どもの気持ちになった。

・実践する前に五感を使った活動（例えば嗅いだり。味わったり、触ったりなど）から導入されているところが印象的でとても良かったです。

<どこまでやれる!? 中学における特別支援教育> 山川 米子（特別支援教育士）

・これまでの実践の中からの広く深いお話から、今自分の置かれている状況の中で何ができるか（何からスタートできるか）が、見つかりました。

・様々なケースを自分の体験と重ねたり、「こんなことを子ども達は感じてるんだ。だからこう接してあげたらいいんだ。」という学びがあった。

<学校でできるストレスマネジメント> 波平 利美（上級教育カウンセラー）

・認知の仕方では感情が様々に変化することをワークシートで確認できて、あらためて“そうなんだー”と気づかされることがあった。

・ストレスを活かせば何事もプラスになるという事。ストレスから来る過敏性の子、起立性のこの対応がわかり感謝です。

<ストロークで人生と指導を楽しむ> 喜瀬 乗進（上級教育カウンセラー）

・プラスのストロークを自分にも人にも与えることが、自己肯定、他者肯定、楽しい人生を生きるきっかけとなる。言葉には力がある。良き美しい思いで、プラスのストロークを自他共になげかけていきたいと思えます。

・遊ぶという事。担任をしていると「～しなければ」という気持ちが非常に強くなって自分でできなくなっていくので、特に印象に残った。

<クラスで活かせるグループワーク> 仲本 イツ子（上級教育カウンセラー）

・言葉を相手に伝えることがステキなギフトとなって、喜んでもらえるカード。人は認められることによってさらに自己肯定し、前進していく力につながる。

・自己肯定感を高めるための方法が色々あることわかった。子どもを支えられるたくさんの手法が学べたので良かったです。学級でもやってみたい。



ストレングスカード・キッス